

# 中部における基本方針に定める 移動等円滑化の目標達成状況

---

# 基本方針に定める移動等円滑化の目標達成状況の概要(2019年度末)

バリアフリー法に基づく基本方針に定められた整備目標達成に向け、移動等円滑化を推進。

		2019年度末の 目標達成状況	2020年度末までの目標(令和2年度末)	
鉄軌道	鉄軌道駅※1	92%	○3,000人以上を原則100% ○この場合、地域の要請及び支援の下、鉄軌道駅の構造等の制約条件を踏まえ可能な限りの整備を行う ○その他、地域の実情にかんがみ、利用者数のみならず利用実態をふまえて可能な限りバリアフリー化	
	ホームドア・ 可動式ホーム柵	858駅 (1,953番線)	車両扉の統一等の技術的困難さ、停車時分の増大等のサービス低下、膨大な投資費用等の課題を総合的に勘案した上で、優先的に整備すべき駅を検討し、地域の支援の下、可能な限り設置を促進 ※交通政策基本計画において2020年度までに約800駅の整備を行う	
	鉄軌道車両	75%	約70%	
バス	バスターミナル※1	95%	○3,000人以上を原則100% ○その他、地域の実情にかんがみ、利用者数のみならず利用実態等をふまえて可能な限りバリアフリー化	
	乗合バス 車両	ノンステップバス	61%	約70%(対象から適用除外認定車両(高速バス等)を除外)
		リフト付きバス等	6%	約25%(リフト付バス又はスロープ付きバス。適用除外認定車両(高速バス等)を対象)
	貸切バス車両	1,081台	約2,100台	
船舶	旅客船ターミナル※1	100%	○3,000人以上を原則100% ○離島との間の航路等に利用する公共旅客船ターミナルについて地域の実情を踏まえて順次バリアフリー化 ○その他、地域の実情にかんがみ、利用者数のみならず利用実態等をふまえて可能な限りバリアフリー化	
	旅客船(旅客不定期航路事業の用に供する船舶を含む。)	48%	○約50% ○5,000人以上のターミナルに就航する船舶は原則100% ○その他、利用実態等を踏まえて可能な限りバリアフリー化	
航空	航空旅客ターミナル※1	87%	○3,000人以上を原則100% ○その他、地域の実情にかんがみ、利用者数のみならず利用実態等をふまえて可能な限りバリアフリー化	
	航空機	99%	原則100%	
タクシー	福祉タクシー車両	37,064台	約44,000台	
道路	重点整備地区内の主要な生活関連経路を構成する道路	91%	原則100%	
都市公園	園路及び広場	57%※2	約60%	
	駐車場	48%※2	約60%	
	便所	36%※2	約45%	
路外駐車場	特定路外駐車場	65%※2	約70%	
建築物	2,000㎡以上の特別特定建築物のストック	61%	約60%	
信号機等	主要な生活関連経路を構成する道路に設置されている信号機等	99%	原則100%	

※1 旅客施設は段差解消済みの施設の比率。1日当たりの平均的な利用者数が3,000人以上のものが対象。

※2 2019年度末の数値は集計中であるため2018年度末の数値

# 鐵道

# 中部の鉄軌道駅のバリアフリー状況(県別)

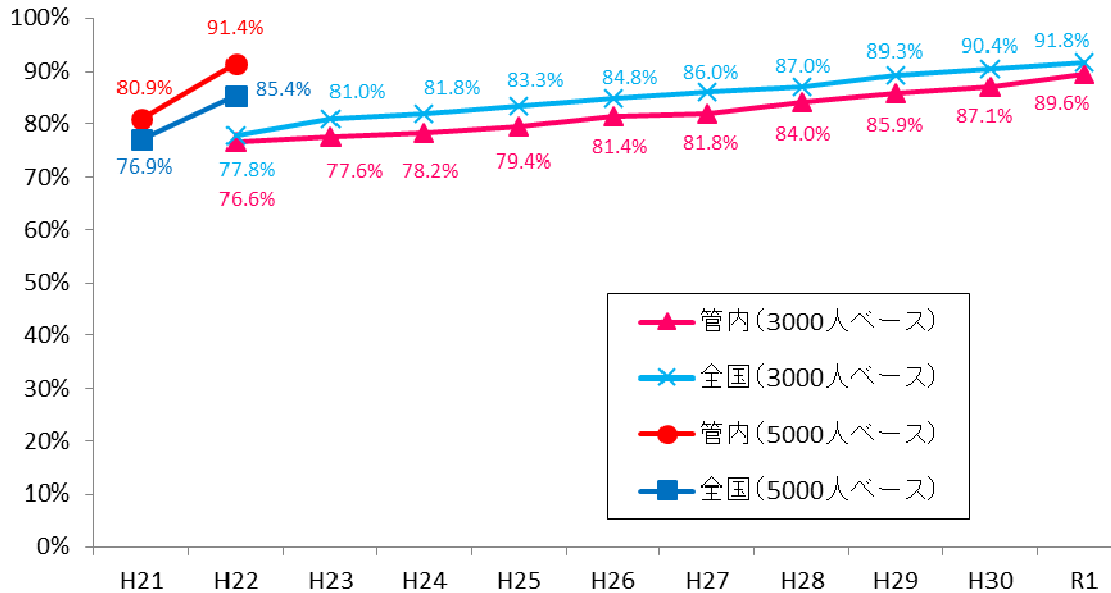
- ・利用者数が1日平均3千人以上である鉄軌道駅のバリアフリー化は、約8割強について実施済。
- ・県別にみると、岐阜県、福井県の進捗率が比較的高い。

(目標値:100% /2020年度末)	愛知県	静岡県	岐阜県	三重県	福井県	中部 合計	全国 合計
鉄軌道駅数	311	61	25	30	6	433	3,580
(うちトイレ設置駅数)	277	60	22	29	6	394	3,340
段差の解消駅数	279	53	24	26	6	388	3,288
割合	89.7%	86.9%	96.0%	86.7%	100.0%	89.6%	91.8%
視覚障害者誘導用 ブロック駅数	289	48	25	26	6	394	3,403
割合	92.9%	78.7%	100.0%	86.7%	100.0%	91.0%	95.1%
障害者トイレの設置駅数	237	48	18	22	6	331	2,956
割合	85.6%	80.0%	81.8%	75.9%	100.0%	84.0%	88.5%

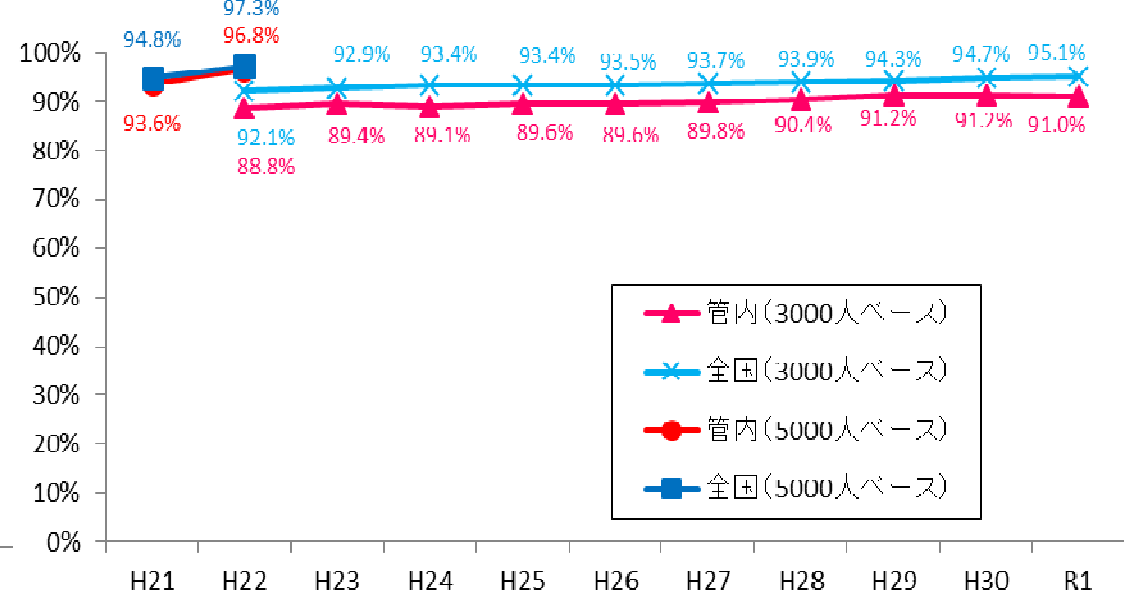
※バリアフリー化率が全国平均より高い地域を赤塗り、低い地域を青塗りとする(以下、同じ)

# 中部の鉄軌道駅のバリアフリー化の推移

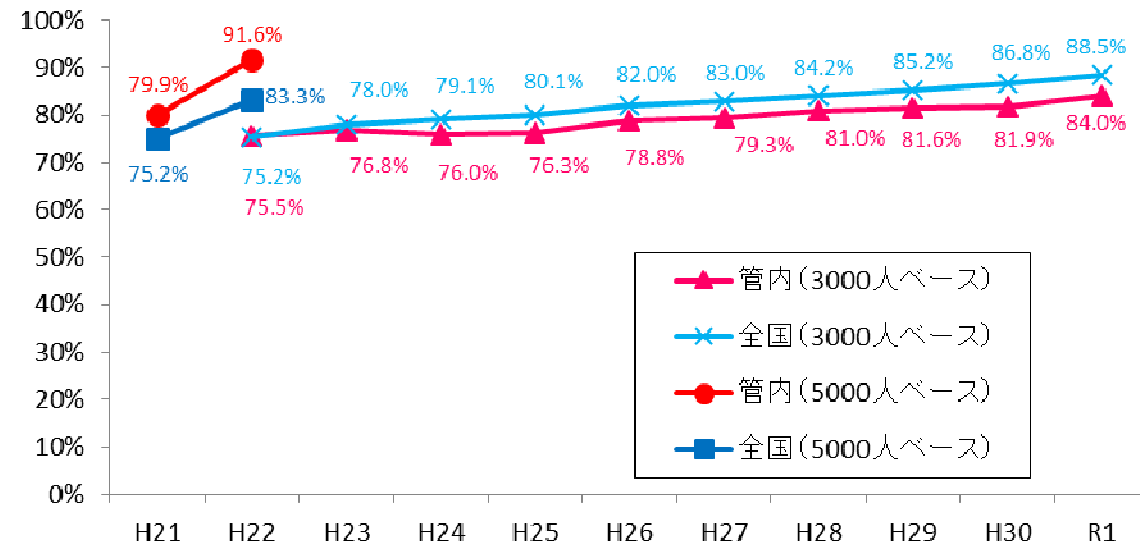
## 段差の解消



## 誘導用ブロック



## 障害者用トイレ



※平成22年度までは旧基本方針に基づき1日当たりの平均的な利用者数が5,000人以上の旅客施設、23年度以降は改訂後の基本方針(平成23年4月1日施行)に基づき、1日当たりの平均的な利用者数が3,000人以上の旅客施設の整備状況を示している。

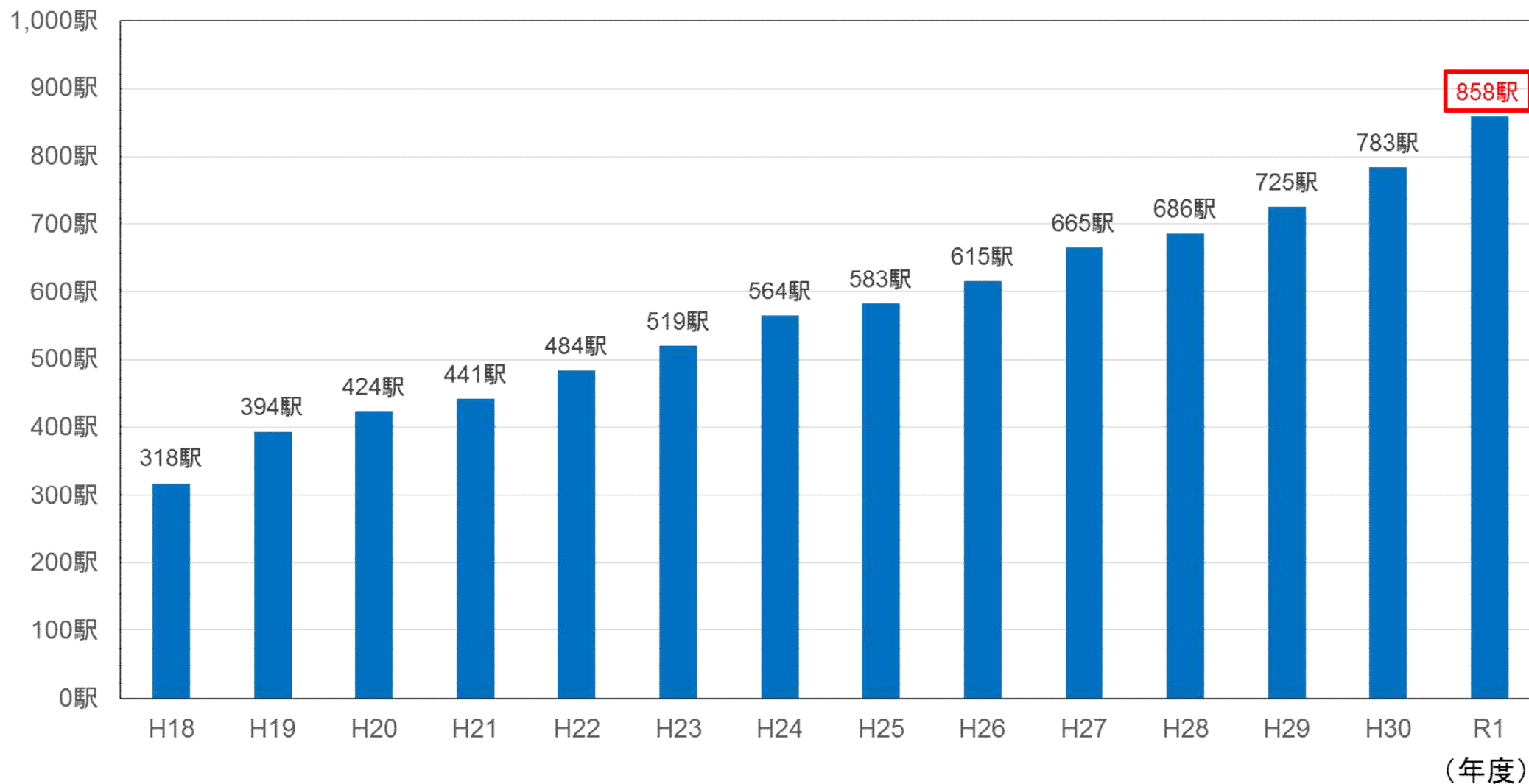
※「障害者用トイレ」については、トイレを設置している旅客施設における整備状況を示している。

# ホームドアの設置状況(全国)

## ◆ホームドアの整備目標

車両扉の統一等の技術的困難さ、停車時分の増大等のサービス低下、膨大な投資費用等の課題を総合的に勘案した上で、優先的に整備すべき駅を検討し、可能な限り設置を促進する。

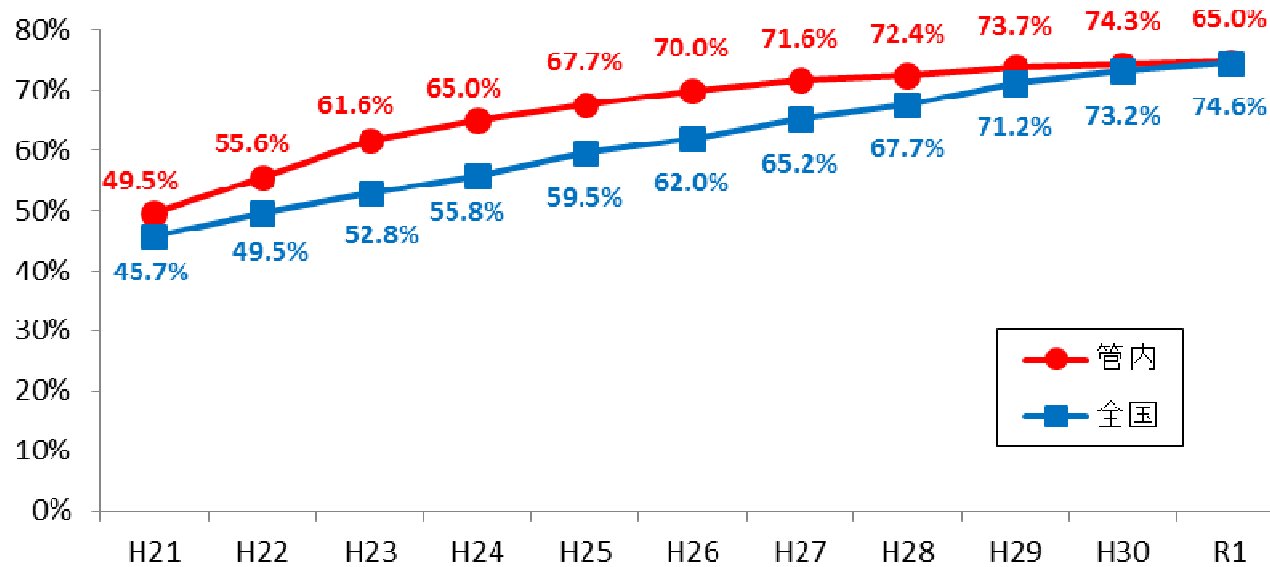
※交通政策基本計画において2020年度までに約800駅の整備を行う



# 中部の鉄軌道車両のバリアフリー状況(県別)及び推移

- ・鉄軌道車両のバリアフリー化は、7割強について実施済み。
- ・県別に見ると、愛知県の進捗率が比較的高い。

(目標値: 約70% / 2020年度末)	愛知県	静岡県	岐阜県	三重県	福井県	中部合計	全国合計
総数	5,343	227	54	73	64	5,761	52,648
基準適合車両	4,210	63	5	24	12	4,314	38,564
総数に対する割合	78.8%	27.8%	9.3%	32.9%	18.8%	74.9%	73.2%



※各県別の考え方は、本社所在地で割り振っている。なお、本社と路線地域が異なる場合、路線地域内の支社所在地より割り振っている。

バス



# 中部のバスターミナルのバリアフリー状況(県別)

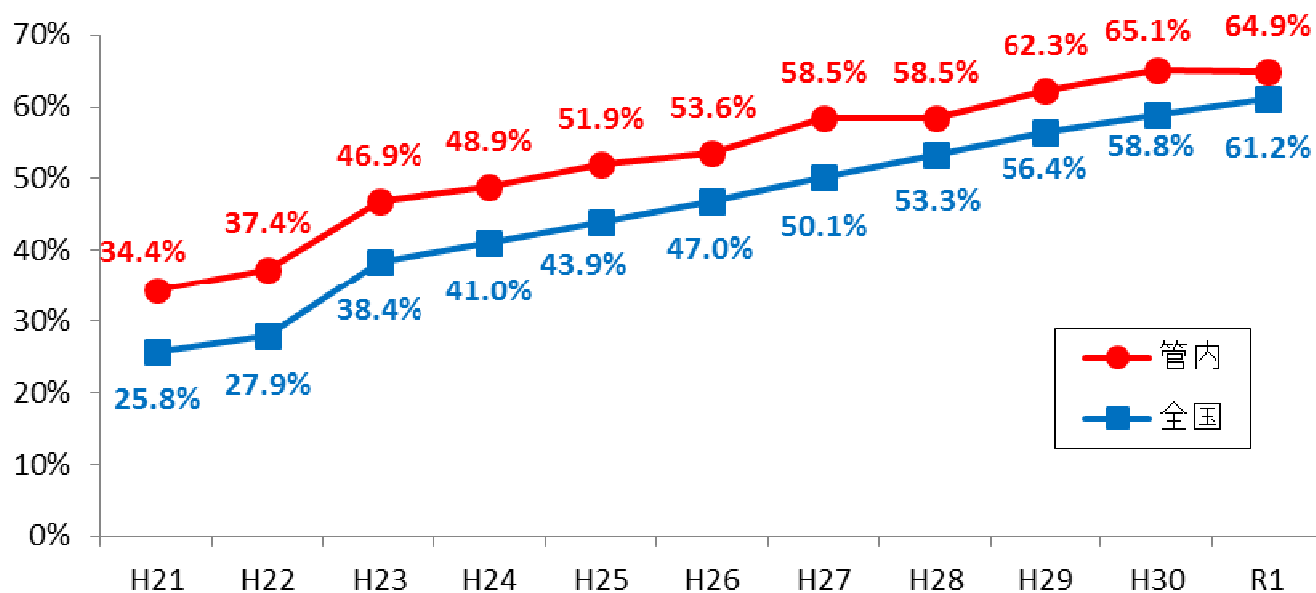
・利用者数が1日平均3千人以上であるバスターミナルのバリアフリー化は、段差解消については100%実施済。

(目標値:100% ／2020年度末)	愛知県	静岡県	岐阜県	三重県	福井県	中部 合計	全国 合計
バスターミナル数	3	2	該当なし	該当なし	該当なし	5	47
(うちトイレ設置施設数)	3	2	-	-	-	5	40
段差の解消施設数	3	2	-	-	-	5	44
割合	100%	100%	-	-	-	100%	93.6%
視覚障害者誘導用 ブロック施設数	3	2	-	-	-	5	45
割合	100%	100%	-	-	-	100%	95.7%
障害者トイレの 設置施設数	3	2	-	-	-	5	30
割合	100%	100%	-	-	-	100%	68.2%

# 中部のノンステップバスのバリアフリー状況(県別)及び推移

- ・ノンステップバスのバリアフリー化は、6割強の導入状況。
- ・県別に見ると、愛知県の進捗率が比較的高い。

(目標値:約70% /2020年度末) ※適用除外認定車両を除く	愛知県	静岡県	岐阜県	三重県	福井県	中部 合計	全国 合計
総数	1,984	1,232	595	1,147	223	5,181	48,025
基準適合車両	1,637	799	260	506	158	3,360	29,373
割合	82.5%	64.9%	43.7%	44.1%	70.9%	64.9%	61.2%



※各県別の考え方は、バス事業者の営業所単位で運輸局に報告されたものの積み上げ。

# リフト付きバス等の導入状況(地域別)

## ◆リフト付きバス等の導入の目標

適用除外認定車両については、令和2年度までに、その約25%に当たる台数をリフト付き又はスロープ付きバスとする等、高齢者、障害者等の利用の実態を踏まえて、可能な限りの移動等円滑化を実施する。

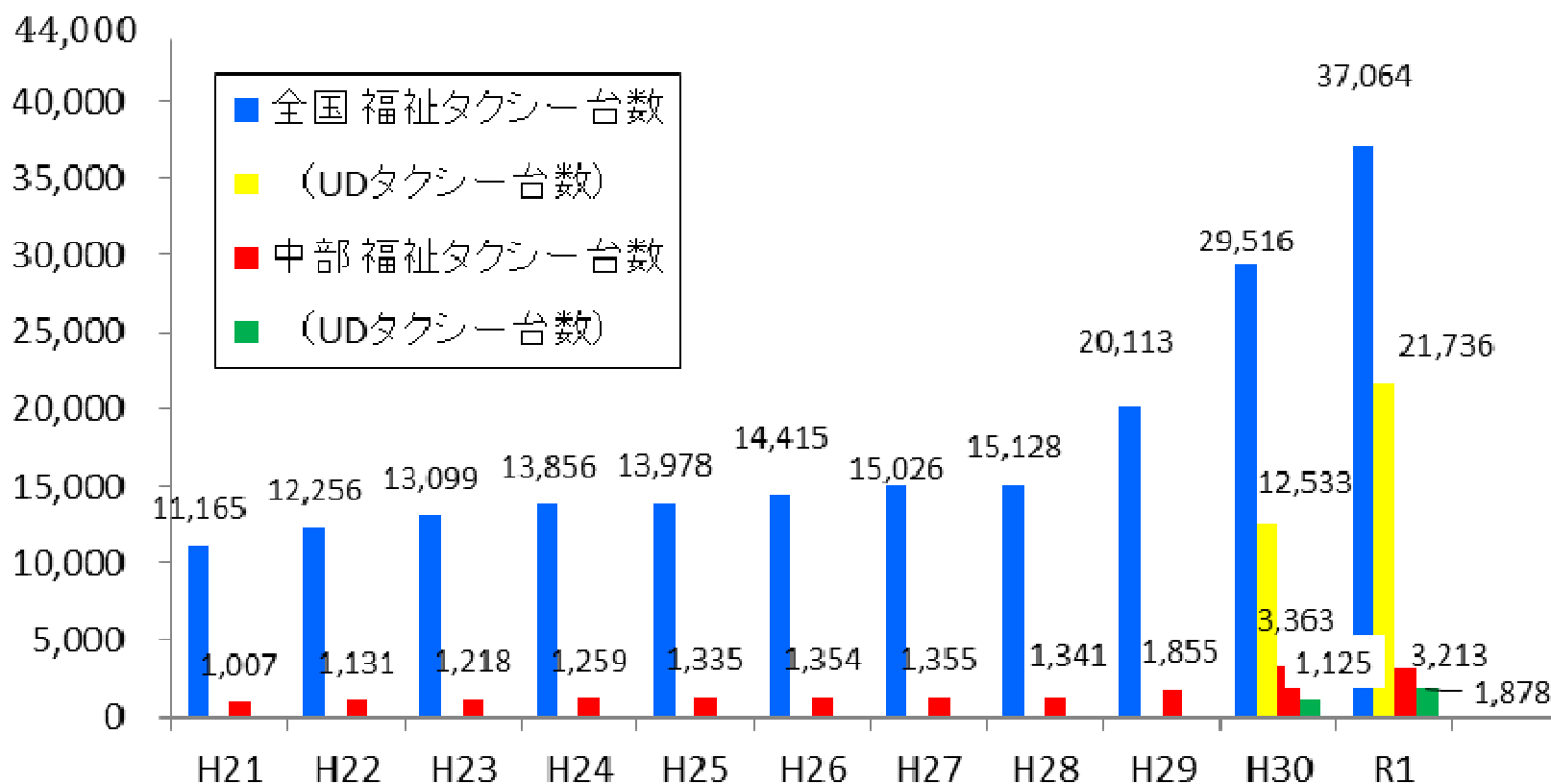
(目標値:約25%/ 2020年度末) ※適用除外認定車両		北海道	東北	北陸信越	関東	中部	近畿	中国	四国	九州	沖縄県	合計
		総数	951	1,517	988	3,207	1,045	1,971	905	555	2,017	361
リフト付きバス等	対象車両	34	66	14	195	111	140	65	4	111	6	746
	割合	3.6%	4.4%	1.4%	6.1%	10.6%	7.1%	7.2%	0.7%	5.5%	1.7%	5.5%

# 福祉タクシー

# 中部の福祉タクシーの導入状況(県別)

・県別に見ると、愛知県の導入数が多い。

(目標値:約44,000台／R2年度末)	愛知県	静岡県	岐阜県	三重県	福井県	中部合計	全国合計
基準適合車両	1,748	741	261	267	196	3,213	37,064
うちUDタクシー	1,180	444	149	46	59	1,878	21,736



# 旅客船

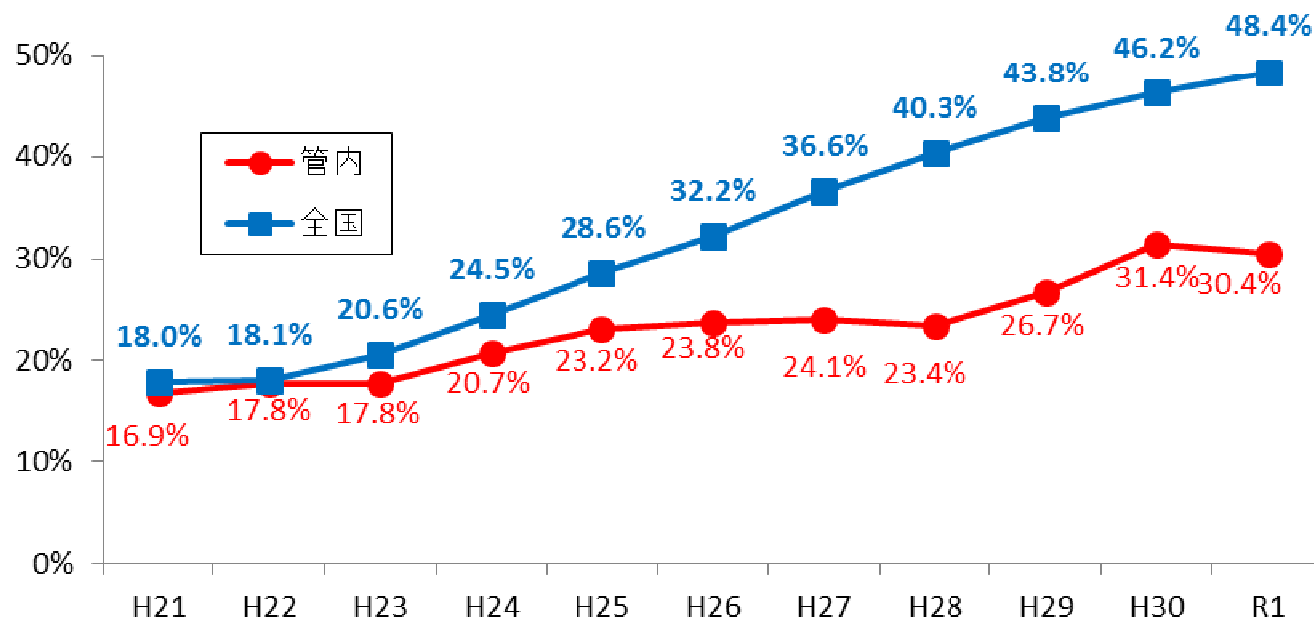
・利用者数が1日平均3千人以上である旅客船ターミナルのバリアフリー化について、中部5県内のターミナルは該当なし。全国の段差解消について進捗率は100%、障害者用トイレの進捗率については進捗率は9割強、視覚障害者誘導用ブロックの進捗率は7割強となっている。

(目標値:約100%/ 2020年度末)	愛知県	静岡県	岐阜県	三重県	福井県	中部 合計	全国 合計
旅客船ターミナル数	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	13
うちトイレ設置施設数	-	-	-	-	-	-	13
段差解消施設数	-	-	-	-	-	-	13
総施設数に対する割合	-	-	-	-	-	-	100%
視覚障害者誘導用 ブロック施設数	-	-	-	-	-	-	13
総施設数に対する割合	-	-	-	-	-	-	78.6%
障害者トイレの設置 施設数	-	-	-	-	-	-	13
うちトイレ設置施設数に 対する割合	-	-	-	-	-	-	91.7%

# 中部の旅客船のバリアフリー状況(県別)及び推移

・旅客船のバリアフリー化は、3割強の実施。県別にみると愛知県の割合が比較的高い。

(目標値:約50%/ 2020年度末)	愛知県	静岡県	岐阜県	三重県	福井県	中部 合計	全国 合計
総数	18	18	4	28	1	69	686
基準適合車両	12	1	1	7	0	21	332
総数に対する割合	66.7%	5.6%	25.0%	25.0%	0.0%	30.4%	48.4%



※各県別の考え方は、航路の起点により整理。なお、起点が管轄する運輸局等でない他県等の場合は、本社所在地の管轄する運輸局等で整理。



# 航空

# 中部の航空旅客ターミナルのバリアフリー状況(県別)

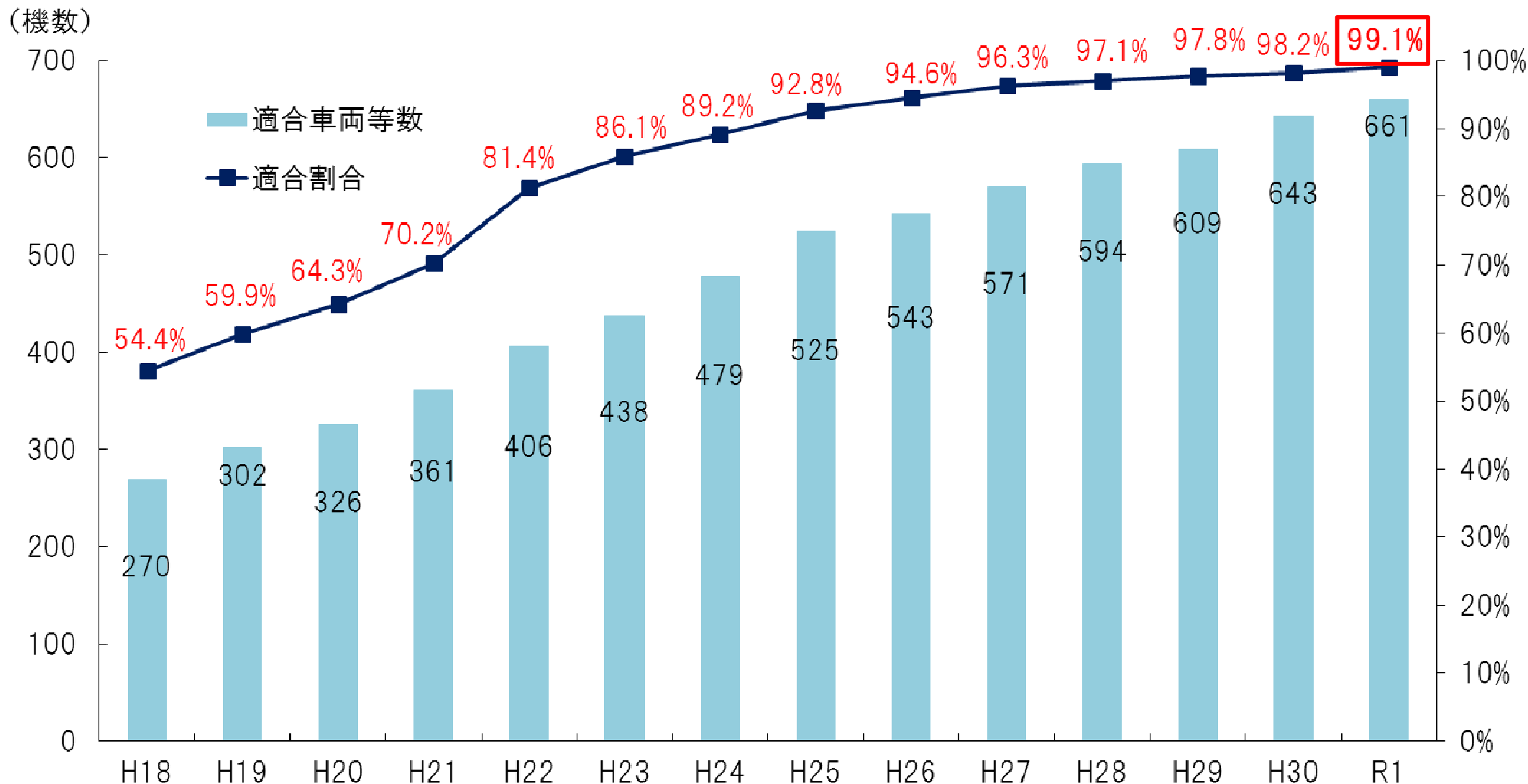
・利用者数が1日平均3千人以上である航空旅客ターミナルのバリアフリー化は、100%実施済。

(目標値:100% ／2020年度末)	愛知県	静岡県	岐阜県	三重県	福井県	中部 合計	全国 合計
航空旅客ターミナル数	2	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	2	38
(うちトイレ設置 ターミナル数)	2	—	—	—	—	2	38
段差の解消数(施設数)	2	—	—	—	—	2	33
総施設数に対する割合	100%	—	—	—	—	100%	86.8%
視覚障害者 誘導用ブロック(施設数)	2	—	—	—	—	2	36
総施設数に対する割合	100%	—	—	—	—	100%	94.7%
障害者トイレの 設置施設数	2	—	—	—	—	2	37
うちトイレ設置ターミナル数に 対する割合	100%	—	—	—	—	100%	97.4%

# 航空機のバリアフリー化の推移(全国)

## ◆航空機のバリアフリー化の目標

総機数約620機について、令和2年度までに、原則として全て移動等円滑化を実施する。



(公共交通移動等円滑化実績等報告による)

# 道路

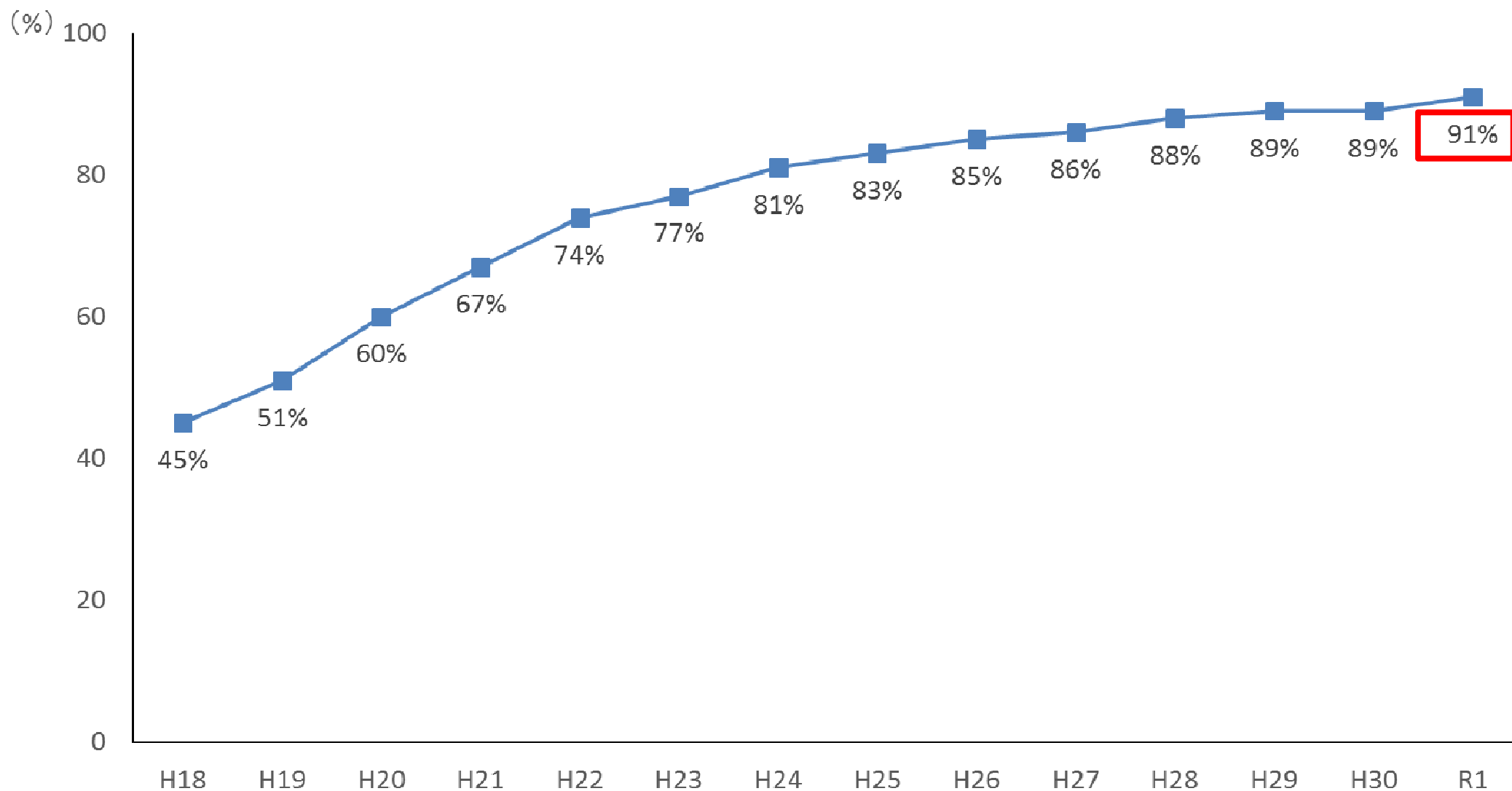
※地域については各地方整備局等の管轄区域を基本としており、内訳は以下のとおり。

北海道	(北海道)
東北	(青森県、岩手県、宮城県、福島県、秋田県、山形県)
関東	(茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県、長野県)
北陸	(新潟県、富山県、石川県)
中部	(静岡県、愛知県、岐阜県、三重県)
近畿	(福井県、滋賀県、京都府、大阪府、奈良県、和歌山県、兵庫県)
中国	(鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県)
四国	(徳島県、香川県、愛媛県、高知県)
九州	(福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県)
沖縄	(沖縄県)

# 道路のバリアフリー化の推移(全国)

## ◆道路のバリアフリー化の目標

原則として重点整備地区内の主要な生活関連経路を構成する全ての道路について、令和2年度までに、移動等円滑化を実施する。



# 都市公園

# 都市公園のバリアフリー状況(県別)

- ・都市公園のバリアフリー化は、園路及び広場については5割強、駐車場については4割強、便所については3割強の都市公園において実施済み。
- ・県別に見ると、園路及び広場については愛知県、駐車場については福井県、便所については静岡県の達成率が比較的高い。

(目標値:約60%/2020年度末)		愛知県	静岡県	岐阜県	三重県	中部 合計	福井県	全国 合計
園路及び広場	総数	4,490	2,202	1,351	2,695	10,738	930	99,021
	基準適合の数	3,357	1,429	444	1,391	6,621	399	58,465
	割合	74.8%	64.9%	32.9%	51.6%	61.7%	42.9%	59.0%

(目標値:約60%/2020年度末)		愛知県	静岡県	岐阜県	三重県	中部 合計	福井県	全国 合計
駐車場	総数	427	364	217	169	1,177	75	9,242
	基準適合の数	206	175	84	85	550	45	4,583
	割合	48.2%	48.1%	38.7%	50.3%	46.7%	60.0%	49.6%

(目標値:約45%/2020年度末)		愛知県	静岡県	岐阜県	三重県	中部 合計	福井県	全国 合計
便所	総数	2,770	1,289	843	411	5,313	306	35,872
	基準適合の数	1,028	546	261	183	2,018	92	13,431
	割合	37.1%	42.4%	31.0%	44.5%	38.0%	30.1%	37.4%

# 路外駐車場



# 中部の特定路外駐車場のバリアフリー状況(県別)

- ・特定路外駐車場のバリアフリー化は、7割弱において実施済み。
- ・県別に見ると、愛知県、岐阜県、福井県の進捗率が比較的高い。

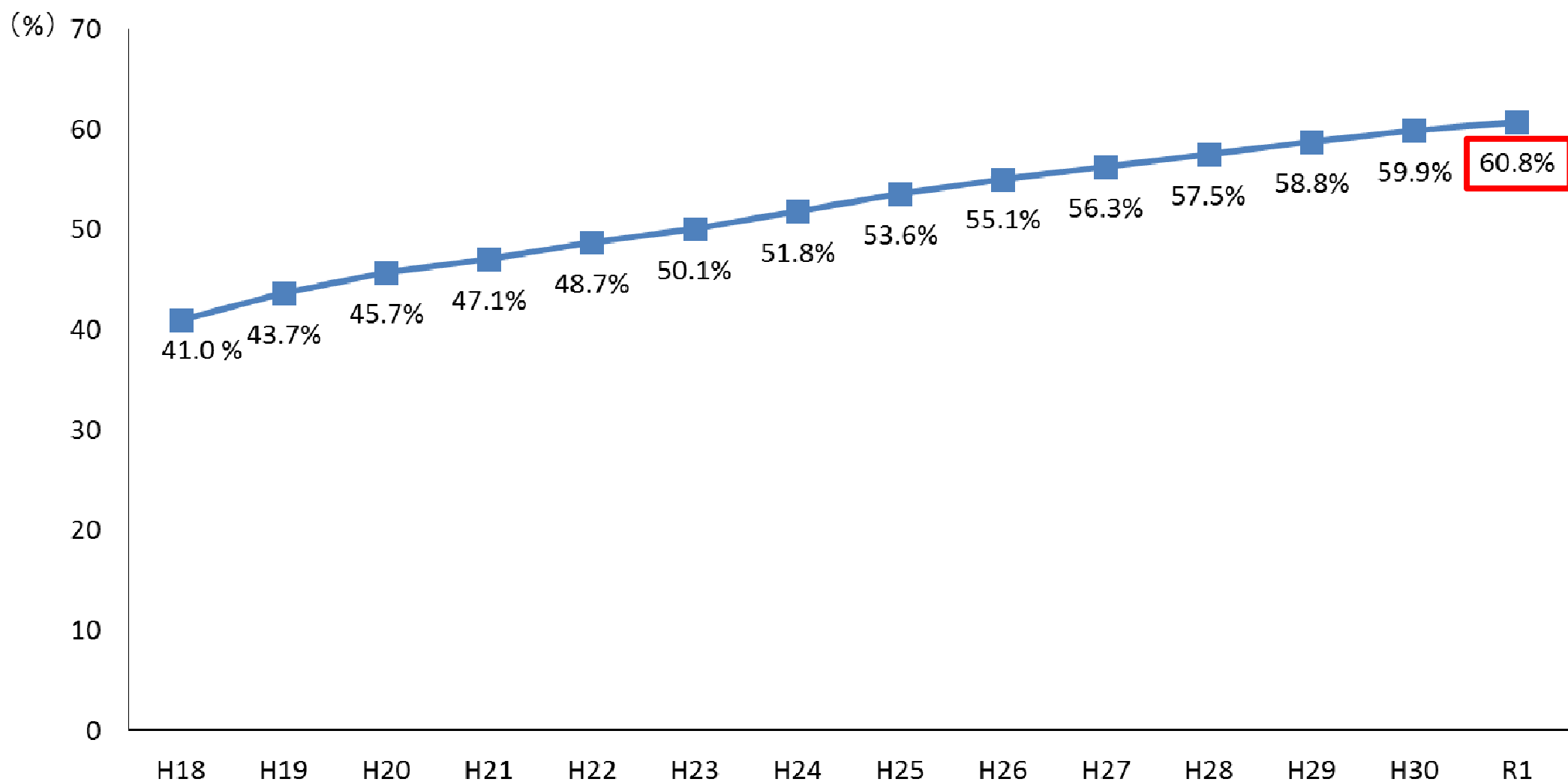
目標値:約70% ／2020年度末	愛知県	静岡県	岐阜県	三重県	中部 合計	福井県	全国 合計
総数[箇所]	167	93	41	49	350	17	3,073
基準適合の数[箇所]	131	54	31	32	248	12	2,169
割合	78.4%	58.1%	75.6%	65.3%	70.9%	70.6%	70.6%

# 建築物

# 建築物のバリアフリー化の推移

## ◆建築物のバリアフリー化の目標

2000㎡以上の特別特定建築物の総ストックの約60パーセントについて、令和2年度までに、移動等円滑化を実施する。



# 信号機等

※地域については管区警察局等の管轄区域を基本としており、内訳は以下のとおり。

北海道警察(北海道)

東北(青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県)

警視庁(東京都)

関東(茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、神奈川県、新潟県、山梨県、長野県、静岡県)

中部(富山県、石川県、福井県、岐阜県、愛知県、三重県)

近畿(滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県)

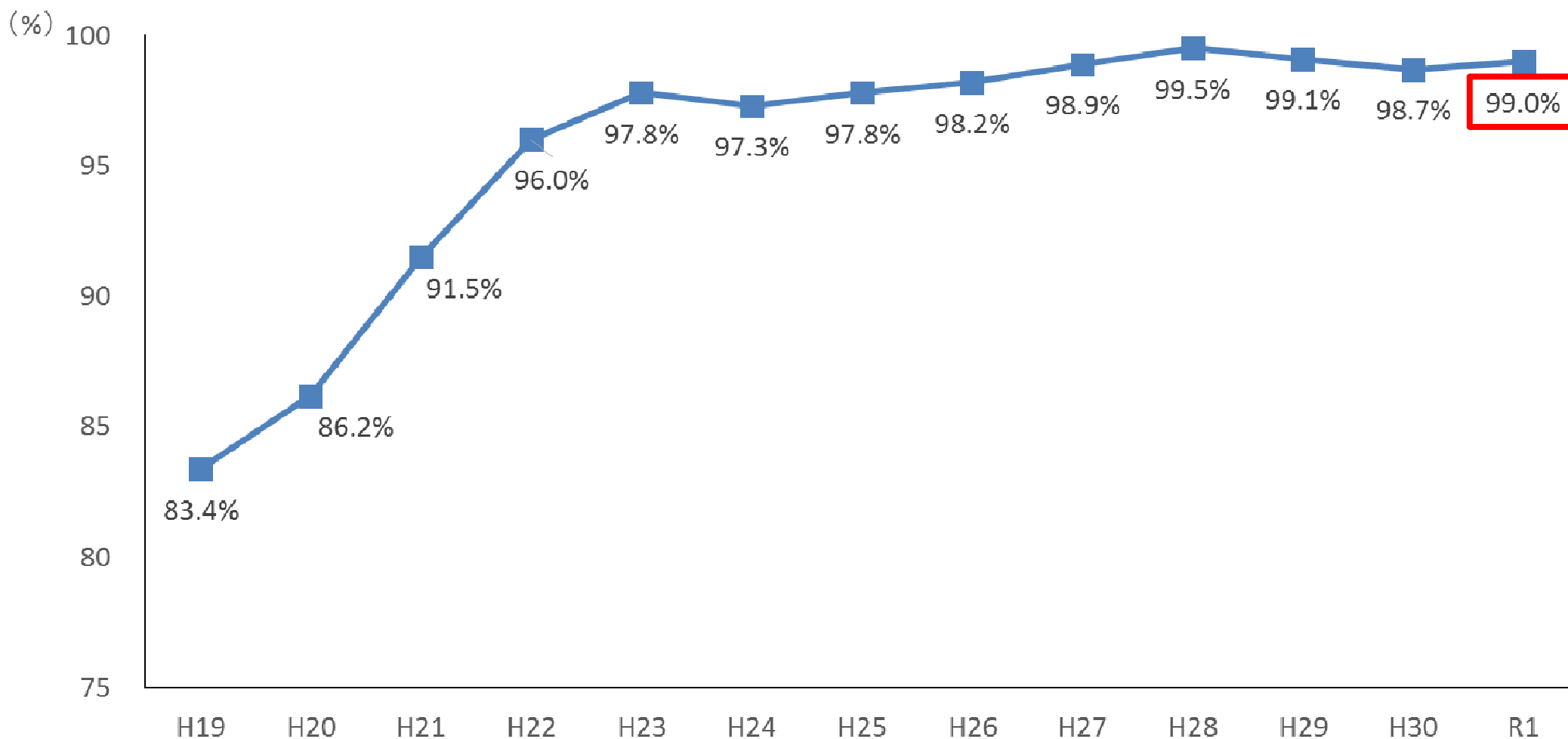
中国(鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県)

四国(徳島県、香川県、愛媛県、高知県)

九州(福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県)

## ◆信号機等のバリアフリー化の目標

重点整備地区内の主要な生活関連経路を構成する道路に設置されている信号機等については、令和2年度までに、原則として全ての当該道路において、音響信号機、高齢者等感応信号機等の信号機の設置、歩行者用道路であることを表示する道路標識の設置、横断歩道であることを表示する道路標示の設置等の移動等円滑化を実施する。



# 信号機等のバリアフリー状況(地域別)

※警察庁資料

・重点整備地区内の主要な生活関連経路を構成する道路に設置されている信号機等のバリアフリー化は、全体的には着実に進んでいる。

(警察庁資料による)

北海道	東北	東京都	関東	中部
100.0%	99.7%	96.1%	99.7%	98.8%

近畿	中国	四国	九州	全国平均
99.9%	99.7%	100.0%	100.0%	99.0%

※管区警察局別

(令和元年度末時点)